

令和7年度 保護者アンケート集計結果表

	質問内容	児童発達支援						
		5.満足している	4.やや満足している	3.どちらでもない	2.やや不満である	1.不満である	?わからない	平均
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		1					4.00
2	職員の配置数は適切であると思いますか。		1					4.00
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		1					4.00
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		1					4.00
5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1					4.00
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		1					4.00
7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		1					4.00
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		1					4.00
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		1					4.00
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1					4.00
11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。			1				3.00
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		1					4.00
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		1					4.00
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1				3.00
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。		1					4.00
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1					4.00
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		1					4.00
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1				3.00
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		1					4.00
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		1					4.00

21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1						4.00
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1						4.00
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1						4.00
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1						4.00
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1						4.00
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1						4.00
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1						4.00
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1						4.00
29	事業所の支援に満足していますか。	1						4.00
満足度平均		3.90						

<h3>アンケート結果からの 管理者の考察</h3>	<p>前年度と比較して、総合満足度平均△0.49ポイントと微減。 項目別で比較すると、最低値が①③⑧。前年と利用者の推移を比較し、就学に伴い児童発達支援の利用者が6人→3人に減少。なおかつ、3人は昨年の秋頃より就学を見越して利用を開始された方が大半であった。アンケートの対象母数が少なくなったことがポイント減少の要因の一つ。ただ、そこから見える課題について、しっかりと受け止めて改善していきたい。「子どもの主体性と助け合いの心を育む」というテーマを事業所で掲げ、日々の活動の中でいかに子供たちが主体的に活動に参加できるか、お友達同士で手を取り声をかけ合い助け合えるかどうかを心がけて支援を実施しました。結果として、自由に自分の気持ちを発言をする子ども達の増加、年上のお友達と自然に手を繋ぐ場面が増えたりするなど、成長を感じられる場面があった。年間を通して、奈良大の学生イベントや地域交流できる畑で野菜をとる、ネイティブの先生に英語を教えてもらう、リトミックの先生にきてもらう、フードコートでお友達とご飯を楽しむなど、子供たちにとって初めてを体験する活動を入れ込むことが出来た。今後も継続して、子供の主体性と助け合いの心を育むことを大切にしながらプログラム、支援を検討していきたい。今後の課題として、地域交流、保護者との連携、保護者同士の交流について、強化していけるように工夫して参ります。</p>
--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>お子様が喜んでいる、または楽しみにしているプログラム</p>	
<p>こんなプログラムがあると嬉しい、こんなサービスを増やしてほしい</p>	
<p>何か改善点など</p>	